

体協だより

2009年(平成21年)1月1日

第7号

発行：(NPO 法人) 羽村市体育協会

明けましておめでとう ございます

本年もよろしくお願いいたします。

NPO法人羽村市体育協会メンバー一同、謹んで
新年のお慶びを申し上げます。

一年の計は元旦にあり、皆様も各人取り組まれるス
ポーツの『〇〇初め』を新鮮な気持ちで取り組まれ
たことと存じます。



今年も体協だよりをご愛読くださる皆様に、幸多か
れとお祈りするとともにNPO法人羽村市体育協会
へのご理解とご支援・ご協力をよろしくお願い申し上
げます。

平成21年1月元旦

特定非営利活動法人
羽村市体育協会



会 長	小山 茂樹
副 会 長	田村 義明
副 会 長	本田 文栄
専 務 理 事	岸 浪 一 正
役 員	一 同
事 務 局	一 同

『第33回御岳～羽村完歩大会』を 開催しました

11月23日(日) 好天に恵まれ、114名の
参加があり盛大に行われました。



御岳運動広場～羽村市スポーツセンター間の
15kmがこれまで33回続いたコースです。
皆様思い思いのペースで全員無事完歩。

錦秋の一日が与えてくれる陽ざしと紅葉は、暖
かく歩く人々を照らし輝かせてくれたように思え
ました。

参加された皆様、お疲れさまでした。

御岳～羽村コースは交通事情等もあり今回で
ひと区切り。

来年度からはコースを新たに設定し、多くの皆
様に楽しんでいただけるような大会の企画を関係
者一同、鋭意検討中です。



子どもたちも楽しく参加



このコースでは最後の大会 スタート直後の御岳
トンネルで元気いっぱいの参加者面々

加盟団体のひろば

今号で今年2回目の各加盟団体から寄せられた活動を紹介です。

当体育協会の各競技団体の活躍の一端をお伝えしていくことで当体育協会活動へのご理解を深めていただければ、と願うしだいです。

－ ダンススポーツ －

平成4年4月1日、秋山幹男・伊藤喜春が中心となり少人数の参加者でスタートした当連盟も創立17年を迎えようとしています。

創立と同時に上部団体である東京都ダンススポーツ連盟に加盟すると共に、日本ダンススポーツ連盟の会員になりました。



平成12年には念願の羽村市体育協会に新規加盟することができ、初心者講習会、技術認定講習会、技術認定会及びパーティ開催時にはアマトップの模範演技見学などを毎年開催する事ができ、技術向上に成果を上げています。



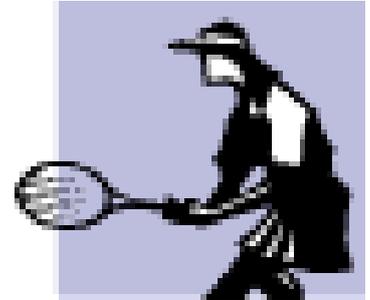
20数名でスタートした会も今では175名の登録会員となり、最近ジュニアダンススポーツ教室を開催するなど、健全なダンススポーツで技術の向上、健康増進、会員の親睦を図り活動しています。

第18回西多摩地域広域行政圏体育大会

ソフトテニスの部で見事優勝!

最初にソフトテニス(軟庭)を紹介します。ソフトテニスはゴム製のボールを打ち合う球技で基本はダブルスで試合を行ない、子供から大人まで幅広い世代で愛好されている生涯スポーツです。

さて本題ですが、10月21日にあきる野市で開催された大会は20～60歳代の各1ペア選出による5チームの団体戦で行なわれ、あきる野・青梅・瑞穂・



羽村の4地区総当りで戦いました。一回戦、前年度優勝のあきる野に60歳の部(細田・下村組)の活躍で③対2と勝利。二回戦の青梅戦、年齢の壁を感じさせない50歳の部(藤田・対馬組「会長ペア」)がファイナルゲームを勝利し③対2と接戦を勝ち取ります。その後も羽村の勢いは衰えず、最後の瑞穂戦、④対1と羽村が勝利し全勝優勝となりました!



連盟では男女会員を随時募集しています。特に女子は人数も少なく各種大会の人集めに苦労しています。

HPはここ→↓

(<http://orange.ap.teacup.com/hamurast/>)

PS: 連盟主催のテニス教室を

平成21年1月8日、22日

平成21年2月5日、19日

の午後6時～スポセンで開催します。参加宜しくお願ひします。

— 陸上 —

— ジュニア育成事業 —

**** 羽村市総合体育大会 ****
* 第11回桜つつみジュニア駅伝大会 *

10月25日(土)

宮の下公園および桜つつみコースで開催。

参加チーム数：市内6小学校から93チーム

駅伝種目：

小学生3年、4年各男女：1. 5km×4名

小学生5年、6年各男女：2. 3km×4名



スタート直前の緊張。

スタートは体協小山会長

当日の宮の下公園は大にぎわい。土手の上にも、選手、保護者、学校の先生等あわせて600名以上がジュニア選手達に声援を送りました。

大会記録も2部門で更新、ジュニア育成の観点からもうれしい結果となりました。

近年は参加チーム数も100チーム前後。

(第1回の参加数17チームは遠い昔の話?)

TVでのマラソン駅伝中継の人気ももちろんですが学校の先生達の指導の熱意があつてこそその大勢参加だとおもい感謝しております。



子供達が一生懸命走る姿、タスキをつなごうとがんばるチームの仲間への連帯感、見るものの心を引きつけ感動を与えてくれます。

あらためてジュニア選手たちにありがとう、と拍手を送りたいと思います。

— なぎなた連盟 —

1：第61回都民大会春季大会結果

羽村連盟結成後、初めて入賞を勝ち取ることが出来、羽村市の総合成績に貢献することができました。

○ なぎなた団体結果

羽村市なぎなた連盟 5位

出場者 監督 長峯 芙美子

大将 長峯 芙美子

中堅 東 友子

先鋒 八田 輝香

補欠 間江 恵子

2：東京都なぎなた大会の結果

男子の部 3位 鈴木 貴志



結成間もない「なぎなた連盟」ですが、貴重な成績を示すことができました。

また、新しい部員も増え青少年の育成・活性化に貢献できるよう精進いたします。

3：初心者講習会の開催

各月ごとに開いております。

お気軽にいらしてください。

連絡先：電話042-555-5473

<指導広報部からのお知らせ>

全ての加盟団体の記事の紹介は、随時掲載してまいりますのでぜひご期待ください。

また、興味ある競技がありましたら下記ホームページにも紹介しておりますのでぜひこちらものぞいてみて下さい。

ホームページ

<http://www.hamura-taikyo.npo-jp.net/>

ジュニア育成事業

『指導者合宿研修』を開催しました

「ジュニアスポーツのネットワークの構築・活用事業」の一環として11月29日(土)、30日(日)に羽村市清里自然休暇村において、「ジュニア育成ネットワークの構築・活用」を主題とした指導者合宿研修を開催しました。

基調講演では、山梨大学教育人間科学部教授の川村協平氏から、『こどもを元気に育てる大人の役割』というテーマでの講演、続いて『羽村市におけるスポーツ機関のかかわり』に関することについて羽村市教育委員会体育課・堀松課長による説明を受けました。

その後、ジュニア育成事業に参画する8団体を中心に当体育協会本部および各加盟団体の指導的立場の皆さんが各分科会に分かれ討議、報告発表を行い、ジュニア育成への取り組みの重要性をあらためて確認、関係者間の連携をより高めることができました。



山梨大学 川村協平教授の講義に聴き入る参加者達
(5分に1回の冗談まじりの話術の妙もあいまって内容の理解が深まりました)

基調講演で川村氏は、専門分野である自然を対象とした子供達との冒険体験活動を通して得られた資料をもとに話を進められ、その中で、

『大人が与えるものはその活動の場だけ』であり、『子供達に考えさせ、自分たちで困難を解決させること』が大切。自分がすべきこと、チームのためになすべきことを自分で判断し問題解決力を養うためにも小さい頃の体験の幅を広げるための場を大人が提供することが大事、とのお話には納得がテンでした。

以下は、第1、第2分科会のテーマと意見集約抜粋です。

分科会1:ジュニア育成における指導者の役割とあるべき姿

○ 指導者の役割は?

『基礎づくりを念頭に。』

ジュニアの可能性を信じ、マナー(スポーツマンシップ)を育て、熱意をもって対応すること。体協を通じた学校現場との関わりが重要

○ あるべき姿は?

『スポーツの楽しさを教えること。』

保護者との連携、安全の確保、団体スポーツとしての仲間意識の植え付けが重要。

分科会2:ジュニア育成のための横のつながり(ソフト面)をどう構築するか。

○ 学校教育と社会人スポーツとのコミュニケーション・接点の構築が重要。

○ たとえば中学校への外部指導員の派遣を教育委員会の協力を得ながら保護者も巻き込んで学校に働きかけを行う。



研修も無事終了。充実感いっぱいの参加者の面々

みなさま、あけましておめでとうございます。
本号では新年のご挨拶に加え、昨年末開催の事業や加盟団体のご紹介となりました。

新年を迎え、本年度の事業もラストスパート。
“体協だより”の中で活動情報をみなさまにタイムリーにお届けできればと考えて編集発行に取り組んでいく所存です。

NPO法人羽村市体育協会へのご支援、御協力を改めてよろしくお願いいたします。

(記:指導広報部長 市山雄三)

体協だより 第7号

発行:特定非営利活動法人 羽村市体育協会
羽村市羽加美1-29-5
電話 042-555-1698

発行日:平成21年1月1日

編集:体育協会 指導・広報部